

# 水田畦畔向け除草剤

## 水田畦畔除草の労力軽減に

# カーメックス<sup>®</sup> 顆粒水和剤

カーメックス<sup>®</sup>はイスラエル国アダマ・アグリカルチュラル・ソリューションズ・グループの登録商標です。

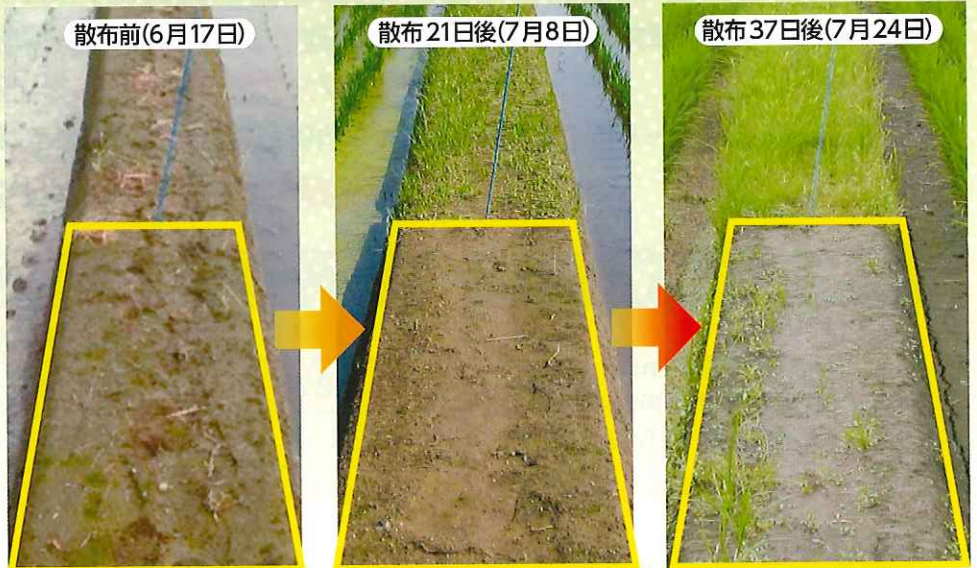
水和剤から「**顆粒水和剤**」に剤型変更!!

★計量しやすくなりました!

★粉立ちが大幅に改善されました!

より使い  
やすく  
なりました!!

顆粒水和剤



※社内試験 場所：群馬県内 散布日：2014年6月17日 薬量：300g/10a 水量：100ℓ/10a (単剤処理)

カメムシ対策に  
畦畔の雑草管理は  
大切です!!



カーメックス<sup>®</sup> 雑草の発生をなが〜くおさえます!

散布

30日

60日

■ 登録内容(関連項目のみ一部抜粋)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当りの使用量		使用方法	本剤の 使用回数	DCMUを含む農 薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	雑草発生前～ 雑草発生前期	150～300g	70～100ℓ	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布	1回	1回

## ● 散布タイミングの例 ●



## ● 効果を最大限引き出すには

- (1) 雑草発生前には…土壌水分が適度にある方が土壌処理効果が安定するので**降雨後の散布**が有効です!!
- (2) 雑草発生揃期(草丈10cm以下まで)に処理する場合には…単用処理の場合には除草剤用の展着剤(**サーファクタントWK等**)を加えると茎葉処理効果がアップします!!
- (3) 優占草種を見て…一部のキク科雑草、イネ科雑草、大きくなった雑草(草丈10cm以上)には効果が弱いので、**茎葉処理剤との同時処理**をお勧めします!!

## ● 散布のめやす

〈前提条件〉

- 畦畔の幅：1m
- 散布薬量：300g/10a
- 散布水量：100ℓ/10a

散布器具の水量	畦畔の長さ(散布面積)	使用薬量
10 ℓ	長さ100m (100㎡)	30g
18 ℓ	長さ180m (180㎡)	54g
33.3 ℓ	長さ333m (333㎡)	100g

※使用薬量、および散布水量は、必ず散布面積に合わせてください。いずれかが基準量より少ないと、効果の劣る場合があります。

## 注意事項 (抜粋)

- 散布液が農作物(水稻)にかからないように注意してください。
- 塗り畦に使用する場合、畦塗り直後で畦が濡れているときは、水田に流入して薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 散布液が水田に流入する恐れがあるところでは使用しないでください。とくに透水性の大きな畦畔、砂質土では完全に除草すると畦が崩れたり、散布液が水田に流入し、水稻に薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 翌年に移動する畦畔、または崩して水田にする畦畔には使用しないでください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。

お求めは…

販売元 **MBC** 丸和バイオケミカル株式会社

<http://www.mbc-g.co.jp>

本社/〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2

☎03-5296-2314

札幌/☎011-222-1285 仙台/☎022-261-1103

名古屋/☎052-951-7234 大阪/☎06-6484-6850

福岡/☎092-714-7101

お問い合わせ窓口/☎03-5962-9731 (平日9:00~17:00祝祭日を除く)